

# 救命救急法講習会～目の前の命を救う為に

子どもが倒れた時、自分が側にいたらできる緊急の対処方法があります。

家族に何かあった時、側にいてくれた人の処置で命が助かるかもしれません。

倒れた人に遭遇した時、命の危機を救えるのは居合わせた私達かも…。



いざという時、救命救急法講習がきっと役に立ちます！



意識の有無

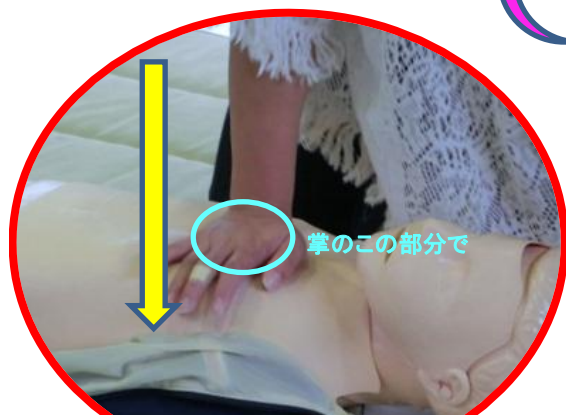


胸の上下確認。  
正常呼吸の有無確認。



★呼吸の異常を確認したら、気道確保

心臓マッサージ 30回 人工呼吸 2回



垂直に体の1/3くらい沈むようにグッと！★子どもなので片手。大人には両手を組んで。



横から息がもれないように、口をしっかり覆う。胸の上下で息が入っているのを確認しながら。

# A E D

心室細動の際、自動的に解析を行い電気ショックを与えることで、正常な心臓の働きに戻す機械。

誰でも使用できるように、**AEDが音声でやるべきことを伝えます。**

「パッドを装着してください」

「心電図を解析中です」

「患者にふれないでください」

「ショックが必要です」

「はなれてください ショックを実行します」などなど

親切！  
かしこい！！

保護者も一般の方も一緒に協力して取り組まれていました。

**AED装着中も、心臓マッサージの手は休めません。AEDが離れて下さいと指示するとき以外は続けます。**

わかりやすくなっています！  
パッドを貼る場所が図示されて



肩甲骨から脇まで、心臓を斜めに通過する感じ。

指輪やネックレスなど、通電したときにやけどを作りそうな金属物は外してあげられると、なお良いようです。

今回は、消防の方が4名指導に来てくださり、一般の方も含めて40名が受講されました。皆さん、真剣に取り組まれていて、実習の大切さがひしひしと伝わってきました。

AEDは学校や公民館などにも設置されています。機会があったら場所を確認してみるのも一助となるかもしれません。大切な命のために・・・。

